

## 米沢市立病院経営強化プラン（案）のパブリック・コメントの結果

### 1 募集対象計画等

米沢市立病院経営強化プラン（案）

### 2 募集期間

令和6年2月1日(木)～令和6年2月20日(火)

### 3 意見の提出者数及び件数

提出者数 3者／提出件数 7件

### 4 意見の内容及び意見に対する回答

次ページ以降に記載しています。

## 米沢市立病院経営強化プラン（案）に対するパブリック・コメントへの回答について

番号	項目 (編・章)	頁	意見の内容	回答	修正の 有無
1	Ⅲ 主要施策 5 施設・設備の最適化	17	<p>予約患者は今の受付に行かず見てもらう科の窓口で直接診察券を提出。診察終わったら診察券持って会計窓口で提出。その場で会計（薬が出ていれば処方せん）。</p> <p>できれば診察券に電子マネーの機能をつけてワンタッチで会計済みます。このようなシステムでここに関わる事務員の削減ができたなら、その分医師や看護師の確保に廻す事ができないだろうか。</p> <p>是非とも検討してください。</p>	<p>現在の受診受付から会計までの一連の流れについては、新病院開院にあたり内部検討委員会を立ち上げ、慎重に協議し決定したものでありますが、ご意見のとおり円滑な流れになるように今後も検証を重ね業務改善に努めてまいります。</p>	無
2	Ⅲ 主要施策 2 医師・看護師等の確保と働き方改革	14	<p>市長等あらゆる人脈を使い医師を確保 (病院事業管理者は、18年の政治経験と厚労副大臣の人脈をもっと発揮していただきたい)</p>	<p>医師確保は最重要課題と捉えております。</p> <p>医師派遣要請に関して、関連大学（県内及び隣県の医科大学）に、市長とともに病院事業管理者及び病院長と訪問するなど要望活動を積極的に行っており、今後も継続してまいります。</p>	無
3	Ⅲ 主要施策 2 医師・看護師等の確保と働き方改革	14	<p>30代独身医師の居住環境整備と待遇改善 (旧病院跡地に医師の居住建設と三度の食事を調理師（シェフ）が提供し、トレーナーやマッサージ体制の完備)</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>医師に関しては、年齢や世帯の区分にかかわらず、当院で民間の借家を借り上げるなどして用意しており、居住環境の整備を図っております。</p> <p>当院は、臨床研修基幹病院であり、新人医師の育成にあたるため、特定の年齢層だけではなく、指導医となるベテラン医師等を含めた幅広い年齢層の医師を確保すること</p>	無

番号	項目 (編・章)	頁	意見の内容	回答	修正の 有無
				<p>が求められております。そのようなことから、年齢や独身等の条件で、特定の医師の待遇改善を図ることは難しいものと考えております。</p> <p>なお、旧病院跡地は当院の患者及び職員駐車場として整備する予定となっておりますので、ご理解くださるようお願いいたします。</p>	
4	Ⅲ 主要施策 6 経営の効率化	18	A I 診療の積極的活用 (メリット 業務効率化とコスト削減、医師・看護師の負担軽減、人的エラーの軽減、病気の早期発見、過疎地医療格差を解決)	<p>A I 診療は、過去のデータをもとに様々な予測や診断を行うことで、業務の効率化や医師等業務の軽減が図られます。一方、課題の一つとしてプライバシー保護やデータセキュリティのリスク管理があげられます。また、学習データに偏りや不正確な情報が含まれている場合、誤った診断や治療計画を示す可能性があります。A I 診療の有効性については認めるところですが、急性期医療でのA Iの導入については慎重な検討が必要であると考えております。</p>	無
5	Ⅲ 主要施策 5 施設・設備の最適化	17	郵便局を活用したオンライン診療の実施 (板谷地区等過疎地で高齢化した地域診療の改善策として板谷郵便局を活用したオンライン診療)	<p>ご提案いただきましたオンライン診療については、症状の安定した方や単純な症状など緊急性の低い症例に対しては有効な部分もあると認識しておりますが、主に急性期医療を担う当院では直接的な検査や治療が必要であり、緊急性の高い症例に対応するにはまだ不十分であると考えております。</p> <p>その柔軟性や利便性については近年注目されているところであり、開業医も含めた米沢市全体の医療のあり方の中で考えていくべき課題と捉えております。</p>	無

番号	項目 (編・章)	頁	意見の内容	回答	修正の 有無
6	Ⅲ 主要施策 1 役割・機能の 最適化と連携の 強化	6	閉院した診療所の再開院の斡旋 (三沢地区・西部地区の医療充実の一環として、まだ十分に 使える旧平井医院の再開院)	(健康課回答) 本市の開業医の現状として、高齢化などにより減少傾向に あり、また、ご意見のとおり閉院した診療所の再開院等、開 業医の承継が大きな課題となっております。 本市としましては、開業医不足が懸念されるなかでもとり わけ、小児科医の不足が喫緊の課題であると認識しており、 令和6年度に新規開業及び承継する場合に支援金を補助す る予定であります。 また、山形県においては令和6年度から医業承継のための マッチング事業に対する予算が計上されています。 今後とも県と連携を図りながら、地域医療の保全に努めて まいります。	無
7	Ⅲ 主要施策 2 医師・看護師 等の確保と働き 方改革	14	『2 医師・看護師等の確保と働き方改革』のところにっ いて意見します。現在、医師や看護師の不足について、確保 や働き方改革が必要なことは十分わかります。その他の医療 職を医療技術員として一括りされておりますが、薬剤師につ いては病院薬剤師は全国的にも不足傾向であり、とりわけ、 山形県においては病院薬剤師の偏在指数が 0.6 となってお ります。偏在指数とは一人が行う仕事を 1 として表します が、現在は人が足りなく、1 の仕事を 0.6 人でやっている ということを聞いています。この状態は未来にわたり続くもの と統計データが出ております。 病院薬剤師は今までの就職活動のみでは新規に入職者を 増やすことは困難です。山形県においてもこの現状について	当院でも薬剤師の確保が喫緊の課題となっておりますの で、薬剤師の確保についても注力する姿勢を示してまいりま す。 ご意見を踏まえ、以下のとおり加筆しました。 P. 14 「2 医師・看護師・薬剤師等の確保と働き方改革」 「(1) 医師・看護師・薬剤師等の確保」 P. 15 「③ 薬剤師・医療技術員確保	有

番号	項目 (編・章)	頁	意見の内容	回答	修正の 有無
			<p>認識しており、『令和6年度山形県病院薬剤師奨学金返還支援金貸与予定者の募集』などの事業を進めており、具体的に現在策定中の第8次医療計画にも病院薬剤師の確保について明言した文言が含まれる予定となっていると聞いております。また現在、山形県病院薬剤師会においても病院薬剤師の不足について山形県と共同して山形県に薬科大学設立についても協議を進めているところと聞いております。</p> <p>抜本的な給与制度の見直しやワークライフバランスについても今後検討は必要です。</p> <p>米沢市立病院では、山形県よりも先駆け、全国から見ても先進的な市と共同した奨学金貸付返還支援制度を行っていますが、これだけでも困難があると考えますが、まずは薬剤師を確保すると明言した文言として、『2 医師・看護師等の確保と働き方改革』を『2 医師・看護師・薬剤師等の確保と働き方改革』として、薬剤師を確保することを明言しなければならないと考えます。今、このように力を入れて宣言しなければこの体制は4年間継続しますので、山形県第8次医療計画や国の政策から4年遅れをとることになると考えます。ご検討よろしくお願いたします。</p>		

## 米沢市立病院経営強化プラン(案)に対する議会からの意見への回答について

意見 12件

番号	項目 (編・章)	頁	意見の内容	回答	修正の 有無
民生常任委員会協議会（1月23日）での意見					
1	Ⅲ 主要施策 2 医師・看護師 等の確保と働き 方改革	14	医師・看護師等の確保はプランの中で一番大切な部分だと思うが、能動的ではなく受動的なすべて待ちの内容に見える。積極的な医師・看護師等を確保していくことを盛り込んでもいいのではないか。プランに盛り込むことは、市民との約束であり、市民の福祉の向上に役立つものだと思う。	<p>大学医局と良好な状態に保つことが大事だと考えております。関連大学や県への働きかけや民間の医療従事者紹介サービスの利用も考えていきます。</p> <p>今年度、新たに協議を始めた大学もあります。当院の救急の状況を伝え、地域の救急を担う当院への医師派遣を要請してまいります。</p> <p>ご意見を踏まえ、以下のとおり加筆しました。</p> <p>P.14 (1) 医師・看護師等の確保 に加筆</p> <p>「医師確保をより安定的に進めるため、医師派遣を受ける大学医局等の新規拡大を図ります。また、臨床研修医師を確保するため、研修プログラムの充実を図るほか、新病院には研修医専用の研修医室や仮眠室を整備し、メンター制度を導入するなどして、臨床研修に限らず将来ビジョンやプライベートの相談体制を整え、臨床研修医にとって魅力を感じられる環境づくりを図ります。」</p> <p>P.14 ① 医師確保 に加筆</p> <p>「他施設の医師修学資金貸付制度を利用した医師の採用を</p>	有

				実現するための債務代弁」	
市政協議会（1月26日）での意見					
1	Ⅲ 主要施策 2 医師・看護師等の確保と働き方改革	14	平成29年の病院改革プランと今回の経営強化プランで、医師・看護師の確保という部分についての取組みに関心が集まる。改革プランと経営強化プランの中で、以前のものには含まれてなかったが今回新しく増えたような医療人材の確保に係る部分は何か。	平成29年度に策定した市立病院改革プランについて、主要施策としては、病院の地域医療構想を踏まえた役割の明確化、経営の効率化、再編ネットワーク化、経営形態の見直しの4本が大きな柱でした。今回、総務省からのガイドラインに基づいて策定しますが、新たに医師・看護師等の確保と働き方改革、新興感染症の感染拡大時に向けた平時からの取組み、施設設備の最適化が新しく盛り込まれた項目となっております。	無
2	Ⅲ 主要施策 2 医師・看護師等の確保と働き方改革	14	臨床研修医の募集のホームページをもっと工夫すべき。もう少し踏み込んだところで、情報発信、リクルート活動について力を入れることが必要になってくると思う。	当院ホームページの医師確保の部分は、トップページから探しづらくなっております。また、見にくいという御意見も頂戴しております。今後、見やすいホームページの制作に取り組んでいきたいと考えております。	無
3	Ⅲ 主要施策 2 医師・看護師等の確保と働き方改革	14	医師確保や新卒のインターンなど、具体的にどのような活動をしていくのか。何か原案はあるか。	若手医師確保の足がかりとなるのが臨床研修医の募集だと考えております。臨床研修医の確保について、医師奨学資金の活用などのPRや、また、大学医局等との良好な関係性を保ち、大学にも要請をしながら医師確保に努めてまいります。	無
4	Ⅲ 主要施策 6 経営の効率化	18	経営の効率化。収入確保に関わるものとして病床稼働率92%以上と目標設定されているが、本冊では令和5年度の病床稼働率が75%、令和6年度は90%を目標にしている。来年度の診療報酬改定で、少しは良い方向に向くとは思いますが、75%から90%に上げるため具体的にどのようなことを考えているか。	現在のところ、88%程度と病床稼働率が上がってきております。病床稼働率向上の対策としまして、当院は、365日24時間の救急医療を行っておりますので、救急搬送からの入院受け入れを強化してまいります。	無

5	Ⅲ 主要施策 6 経営の効率化	18	どのようにベッドコントロールをするのか。在院日数に合わせて計画的に動かなければならないと思う。患者満足度を上げるように、満足度が下がらないようなことのないようにケアをお願いしたい。	病床稼働率が上がりますと、どこの病棟のどの病床が空いているのか、コントロールが大変難しくなりますので、基本的には午前中に退院、同じベッドに午後に入院できるように準備をしております。	無
6	Ⅲ 主要施策 5 施設・設備の最適化	17	デジタル化について手薄ではないかと思う。例えば新病院になってから、マイナンバーカードの対応が総合受付ではできない。以前は各科の受付でもマイナンバーカードを受け付けていた。そういったデジタル化を推進することにより、働き手の確保、効率化そういったものも軽減できるのではないか。	マイナンバーカードの受付は、旧病院では、顔認証付きカードリーダー2台（ブロック受付と総合受付の2箇所）に設置し、受け付けを行っておりました。新病院では、救急室でも受け付けできるようにするため、1台は救急室に、1台は総合案内に移設したところです。 今後、電子処方箋の導入やマイナンバーカード保険証の利用が増えることが考えられます。そのため、2階外来受付への増設を検討し、医療保険事務の効率化や患者の利便性向上を図るとともに利用促進に努めてまいります。 ご意見を踏まえ、以下のとおり加筆しました。 P.18 「また、令和3年10月よりマイナンバーカードの健康保険証利用（オンライン資格確認）の運用を開始し、医療保険事務の効率化や患者の利便性向上を図るとともに、この利用促進に向けて院内掲示や窓口での声かけ等により周知に努めているところです。今後、電子処方箋の導入なども行っていきます。」	有
7	Ⅲ 主要施策 5 施設・設備の最適化	17	ほかのデジタル化について何か具体策はあるか。	電子カルテの統一化という情報もありますので、具体的にどのように進むのか、国の動向には十分注視したいと考えております。	無
8	Ⅲ 主要施策 6 経営の効率化	19	経費削減にかかるもので、職員給与費比率は令和9年度に60%を切るという計画になっている。その下の④でいくと	職員給与費比率が、医業収益に対する職員給与費の比率です。60%を切る目標を立てていますが、これから、患者数	無

			医師は増える。比率が減るということは、患者数が増えるというシミュレーションなのか。	の増、入院一人当たりの診療単価の増も見込まれますので、60%を切るような目標を立てております。	
9	Ⅲ 主要施策 6 経営の効率化	19	令和4年度の職員給与比率68.5%に対し、令和9年度は10%近く減ってくる。診療報酬も上がるが、財政シミュレーションはできているか。	医師数の増により、患者数の増に加えて医業収益が増えることを考えております。	無
10	Ⅲ 主要施策 6 経営の効率化	21	財政シミュレーションを示すことは可能か。グラフで示してほしい。	計画期間の財政的シミュレーションにつきましては、本冊21ページから示しております。	無
11	Ⅲ 主要施策 4 経営形態の見直し	16	地方独立行政法人の移行は盛り込まれているか。その辺りどう考えているか。	本冊16ページから記載しておりますが、更なる経営形態の見直しとして、地方独立行政法人化を目指しております。同法人化には、債務超過でないことが条件となりますので、プランの着実な実施により収支改善を進めながら、早期に債務超過を解消し、同法人化を目指します。	無